

【目指す方向】

○様々な分野でDXが推進し、新技術や新サービス、リアルとデジタルの相乗効果による新たな価値が生まれ、全ての県民がその恩恵を受け、誰一人取り残されない社会

○地域の価値(地域資源)を発掘・磨き上げ、惹きつける魅力ある人が集い、さらに人が集う、魅力あふれる選ばれる地域

○感染症や災害に対して強靱性・柔軟性があり、地域の豊かさや住民の豊かさが両立している持続可能な社会

戦略の柱1 産業・経済の振興 ～5G、AI、IoTなど未来技術の活用～

目指すべき姿

- ・DXの進展やIT人材の育成により、県内産業の労働生産性が向上し、新技術や新商品の開発が進み、新たな成長産業が育成されている
- ・サプライチェーンの多元化等により新しい感染症等に対して柔軟性・強靱性が高まっている
- ・SDGs、脱炭素など本県産業がいち早く順応し、本県産業が日本・世界をリードするトップランナーになっている
- ・DXの推進により農林水産業が効率的になり、生産性が向上している

<施策の柱>

1 スマートシティ・スーパーシティ

<主な取組み>

- (1) スマートシティ・スーパーシティの実現
- (2) DXの推進及び産業基盤の強化
- (3) 新技術、新商品、新サービスの開発
- (4) エレクトリック・コマース(EC)の推進

2 レジリエントで持続可能な企業経営

- (1) サプライチェーンの再構築
- (2) マルチステークホルダー重視の経営

3 サスティナビリティ

- (1) サーキュラー・エコノミー(循環型経済)
- (2) SDGsや脱炭素に向けた取組み

4 クリエイティブ・デザイン・アート

- (1) 人材育成
- (2) スタートアップ企業への支援

5 持続可能な農林水産業

- (1) 農林水産業のスマート化
- (2) 農山漁村の持続的な維持・発展と環境にやさしい農林水産業の推進

6 働き方改革

- (1) テレワークやデジタルを活用した仕事の推進
- (2) 慣行や社内規則の見直し

戦略の柱2 観光・地域づくり・移住の促進 ～地方分散型社会への転換～

目指すべき姿

- ・デジタルの活用により本県の魅力が効果的に発信され、観光客が県外・海外から訪れる
- ・地域資源の磨き上げにより、多くの若者や女性等が訪れてみたい、住み続けたい地域
- ・上質で多様な観光コンテンツが提供され「富山ファン(リピーター)」が増えている
- ・魅力的な人の周りには人が集まり、さらに人が人を呼び込み、人が集まる地域
- ・サテライトオフィスの設置やテレワークなどが促進され分散型社会が形成

<施策の柱>

1 新たなスタイルによる観光振興

<主な取組み>

- (1) 未来技術を活用した新たな観光振興や魅力の発信
- (2) 「新しい生活様式」を踏まえた観光コンテンツの開発
- (3) インバウンドの回復を見据えた対応
- (4) ワークেশンの推進
- (5) マイクロツーリズムの推進と県民意識の醸成

2 訪れてみたい、住み続けたいと思える地域づくり

- (1) 地域資源の再認識と魅力のブラッシュアップ
- (2) 人材の育成・人的ネットワークの構築
- (3) 「都会的価値観の残る田舎」を見据えた地域づくり
- (4) 豊かで魅力ある中山間地域の実現
- (5) 本県の魅力発信力、ブランディング力の向上

3 移住・定住や分散型社会の促進

- (1) 分散型都市の形成に必要な基盤整備や技術開発
- (2) 企業やサテライトオフィス等の誘致
- (3) 移住者受入体制の強化

戦略の柱3 暮らしの充実 ～医療・福祉、教育、文化、交通などの充実～

目指すべき姿

- ・くらしの様々な手続きがデジタル化・オンライン化され、様々な危機にも順応性が高い
- ・オンライン医療が普及し誰もが迅速に医療を受けることができる
- ・教育のICT環境が整備され、きめ細やかな教育が提供されている
- ・5G、AR・VRの活用によりどこでも臨場感ある文化・スポーツを楽しめる
- ・テレワークなど多様な働き方が拡大し、女性の活躍の場が広がっている

<施策の柱>

1 医療・福祉の充実

<主な取組み>

- (1) オンライン診療の普及に向けた環境整備
- (2) 医療・福祉分野のDXの推進
- (3) デジタル技術の高齢者等への浸透
- (4) 包摂的な社会の実現

2 ICT教育の充実及び多様な教育環境の整備

- (1) 学校におけるICT環境の整備
- (2) IT教育の充実
- (3) 多様で魅力ある教育環境の整備

3 文化・芸術、スポーツへの支援

- (1) 未来技術を活用したコンテンツの充実
- (2) 文化・芸術の充実

4 交通の充実

- (1) MaaSなど新たな交通サービスの推進
- (2) 公共交通機関・カーシェアリング活用の推進

5 働き方改革・女性活躍の促進

- (1) リモートワークの促進
- (2) オフィスのあり方の見直し
- (3) 副業・兼業人材の活用

戦略の柱4 デジタルガバメントの推進

目指すべき姿

- ・県庁自らが率先してDXを推進し、県内企業の模範となっている
- ・あらゆる行政手続きがオンライン化され、必要な行政サービスがどこでも受けられる
- ・すべての県民や民間事業者がデータ活用による便益を実感できる

<施策の柱>

1 行政のデジタル化

<主な取組み>

- (1) デジタル化推進のための体制整備
- (2) デジタル化推進のための環境整備
- (3) 業務等の見直し

2 行政手続きのオンライン化

- (1) 行政手続きの見直し
- (2) オンライン申請の促進

3 新たな技術やサービスの活用

- (1) 新しい技術・サービスの活用
- (2) システムの標準化・共通化